

# 「養護教諭基礎演習 I」の授業見学の感想

名古屋教務課  
中東 大

本日の授業は、養護教諭の採用試験の対策授業ということで、PT・OTの国家試験とは内容が違うのではという先入観から、授業展開も少し相違があるのではと思いながら見学しました。しかし、全体的には国家試験対策とは大きくは変わらず、暗記を主体とした内容でした。以下に詳細を述べたいと思います。

まず行ったのは持ち物のチェックと本日の勉強テーマの確認をやりました。その後すぐに問題に入り1設題ずつ読ませるのですが、ここでもなるほどと思ったことがありました。それはポイントとなる箇所にアンダーラインを引かせたことでした。そのうえで暗記を45秒でさせるのですが、問題を解きながらポイントも一緒に暗記をさせてしまうという、非常に合理的な方法でした。これなら総長先生のおっしゃる「余計なことには手を付けない」という理論にもあてはまり、かつポイントも自分のものにできてしまうので非常に効率的な方法だと感じました。そしてまた、授業の最後の説明でも講師の面川先生がおっしゃっていたのですが、暗記の45秒という時間にも理由があり、これは実際の試験の時の問題を考える時間とのことでした。この話を聞いた時、はっとさせられるものがありました。それは、総長先生がPT・PTの国家試験は1問を約90秒ぐらいで解いていくのですが、1問に対する設題の数からすると、1設題の読む時間が訳15秒です。そう考えると総長先生の勉強方法がいかに理屈に合った方法だったかを思い知らされました。

最後に総長先生の言葉で、確認テストで満点を取り続けることで、本番の試験が合格できるとありました。これは精神的な自信にもなり、ポイントをおさえた知識も暗記できるということで、その言葉から試験合格の全てが凝縮されていると感じ取れました。総長先生の指導される試験対策の授業は本当に試験合格のために作られた授業だと改めて思いました。